

観光協会だより



Facebook



Instagram



X

第38回全国ペット供養祭

7
27
SUN



太陽館夏の夜まつり

8
8
FRI



観光を通じて 町を豊かに!



高島町観光協会は「住んでよし、訪れてよし」の町づくりを目指して、観光客の受入対策の整備や誘客宣伝活動、物産推進事業、観光イベント事業などに尽力しています。また、高島町太陽館・道の駅たかはた・ゆうきの里さんさん・町公式マスコットキャラクターPR活動の管理・運営も行っています。

今年度実施した、高島町観光協会主催・共催のイベントをピックアップしました。町内外の多くの皆様にお力添えいただいたおかげで、どのイベントも成功裡に終わることができました。心より感謝申し上げます。

PICK
UP

観光協会HPより、過去の協会だよりが
ご覧いただけます!



地域おこし協力隊

活動紹介

こんにちは。地域おこし協力隊の金子拓です。令和5年9月に高島町の地域おこし協力隊に着任し、観光協会に所属して物産事業をミッションとして活動しています。今年は例年より多く物産展のお声がけをいただき、農家さんや企業さんからの協力を得て、大都市での高島町物産品の宣伝販売に努めてまいりました。高島町には、おいしい農産物や日本酒・ワイン・加工品などの魅力的な特産品が豊富にあり、特産品がきっかけで高島町のファンになる方も沢山いらっしゃいます。物産事業で高島のファンをどんどん増やしていきたいです。



金子 拓

10
17
FRI

19
SUN

JR仙台駅たかはたフェアの様子



ほかにも... ●5月...JR高輪ゲートウェイシティマルシェ

●7月...JR浦和駅たかはたフェア ●9月...本郷台駅前まつり

●9月...JR錦糸町駅たかはたフェア

たかっきはたっき クリアファイル

町公式キャラクターをブランド化し、物産事業に有効活用すべく行っているグッズ制作の第1弾です。ぜひゲットしてください!



好評発売中!!

太陽館
売店にて

高島町観光協会 会員を募集 しております

- ・個人会員：一口 3,000円
- ・一般会員：一口 5,000円
- ・事業所会員：一口 10,000円

会員の皆様からいただいている会費は、高島町の交流人口を増やし、町を活性化させる“観光事業”の運営に活用させていただいております。観光協会の活動・運営にご賛同の上、会員としてご協力をいただける方を募集しております。

観光協会 新入会員様のご紹介

<事業所会員>

- ・中央印刷(株)様
- ・イワタニ東北(株)米沢営業所様
- ・前山商事(株)様

<一般会員>

- ・ふる里様

ボランティア観光ガイド

「まほろばの里案内人」 会員募集中!

お客様に町内の観光名所の案内をします。研修や実践を通して高島町の観光名所について学ぶことができます。現在40~80代の11名が活動中です!お気軽に高島町観光協会までお問い合わせください。

たかつき・はたつきが行く たかはた探検隊!

Vol.7 犬の宮

高畠町高安地区には全国的にも珍しい、犬を祀るお社「犬の宮」があり、安産と無病息災の御利益があると言われています。犬の宮の敷地内には、「チンは高安犬としての純血を保っていた最後の犬だった」の書き出しで始まる、戸川幸夫氏の直木賞受賞作『高安犬物語』の文が刻まれた高安犬の文学碑があります。



こうやすいぬ
高安犬とは?

高安犬は、奥羽山脈一帯で優秀なマタギ犬として活躍した日本犬の一種で、昭和初期に絶滅したと言われています。『高安犬物語』で著者の戸川氏は「白い立派な中型犬で、ピンと立った耳、犬張子のように張った胸、逞しく巻き上がった尾、キッと正面を見据える刺すような瞳、悠々と力強く歩いて」とその特徴を述べています。高安犬の起原は甲斐犬にあるとも言われており、もしかすると、犬の宮の由来となった勇敢な三毛犬・四毛犬の子孫かもしれません。

戸川幸夫 新潮社
「高安犬物語」
(昭和34年)



犬の宮を守る拍犬。昭和9年に高安犬をモデルにして彫られたものらしい?

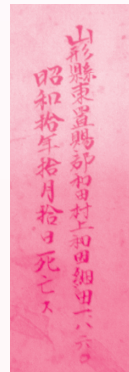


厚い胸に太い脚、
がっちりして
凜々しいですつき!

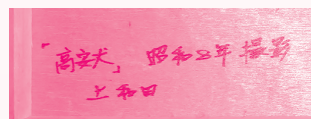
ワン!



高畠町郷土資料館で保管されているこの写真は、『高安犬物語』に出てくる最後の高安犬「チン」だと言われています。写真原本・複製品の裏書を見ると、昭和8年に撮影されたもので、この高安犬は昭和10年に死亡したと思われます。



原本の裏書...



複製品の裏書...

今回は「犬の宮」を
探検しますつき!

ゆーい!ワンちゃんに
会えるんだつき??



たかつき



はたつき

犬の宮の由来

和銅年間(708~715)、役人に化けて村人を苦しめていた大狸を倒して命を落としてしまった三毛犬・四毛犬を鎮守としてお祀りしたのが現在の犬の宮だといわれています。この2匹の犬は甲斐国(現在の山梨県)から連れて来られたそうです。



小川弘
「犬の宮猫の宮の由来記」
(昭和39年)の複製物

複数の由来記があるうち、
そのひとつを翻訳したもの。



犬の宮の
由来詳細は
こちらから

村人を
危機から
救ったん
ですつき!



感謝の
気持ちから
犬の宮を
つくったん
だつき?

まとめ...

皆さんにとって犬はどのような存在でしょうか。高安地区の方々にとって、犬は人間を救ってくれた畏れ多い存在だったのではないのでしょうか。犬を飼っている方にとっては家族の一員であり人生の大切なパートナーであると思います。近年では愛犬の健康祈願と供養に犬の宮を訪れる人も多く、毎年7月には、地区の方々の協力のもと、隣接する犬猫安らぎの郷公園で「全国ペット供養祭」が行われ、県内外から多くの人が訪れています。犬に対する敬意と感謝の念は、犬と共に生きる人々の共通の想いであり、犬と人間が共に生きる限り、この場所にはその想いが集まり続けるのではないかと感じます。

それではまた次回!ばいばーい!

あれ?隣に
「猫の宮」っていうのが
ありますつき!

ええ!
ここも探検して
みたいつき!



発行: 一般社団法人 高畠町観光協会

〒999-2173 山形県東置賜郡高畠町大字山崎200番地の1
(高畠町太陽館内)

TEL 0238-57-3844 FAX 0238-57-4178
URL <https://www.takahata.info> E-mail mahoroba@takahata.info
高畠町太陽館▶TEL 0238-57-4177 道の駅たかはた▶TEL 0238-52-5433
ゆうきの里さんさん▶TEL 0238-58-3060 観光協会 HP はこちら

